



“地域のことは地域で考えよう”

2017年2月27日

## おきぎん県内景況・速報 2017年1月

— 県内景況は、拡大している —

### ■ 個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。  
百貨店売上高は前年同月を上回る。  
家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数は上回る。

### ■ 建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。  
生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

### ■ 観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。  
ホテル稼働率は、リゾートホテル、ビジネスホテルが前年同月を上回り、シティホテルは下回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

### ■ 企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

## 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2017年1月分)

◎2017年1月 おきぎん「カトレア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

1月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は「食料品」などの売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、太陽光パネルやテレビの売上減少などにより前年同月を下回りました。新車販売台数は小型乗用車の需要増加などにより前年同月を上回りました。

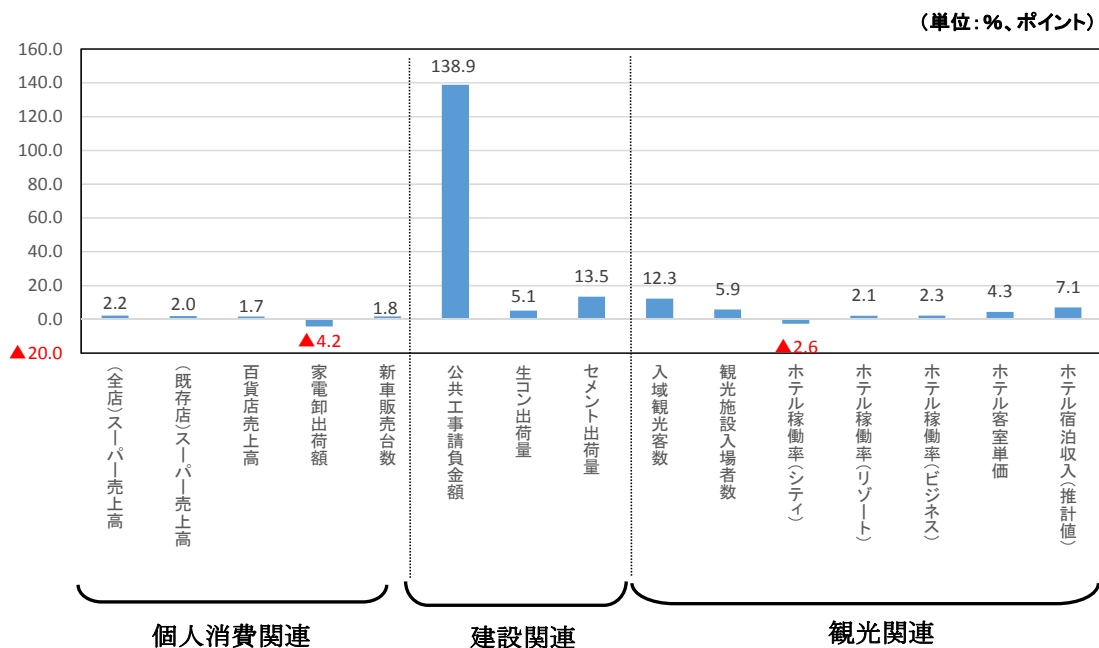
建設関連では、公共工事請負金額は、国やその他の公共的団体発注による大型工事などで前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は52ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はリゾートホテル、ビジネスホテルが前年同月を上回り、シティホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から36ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比



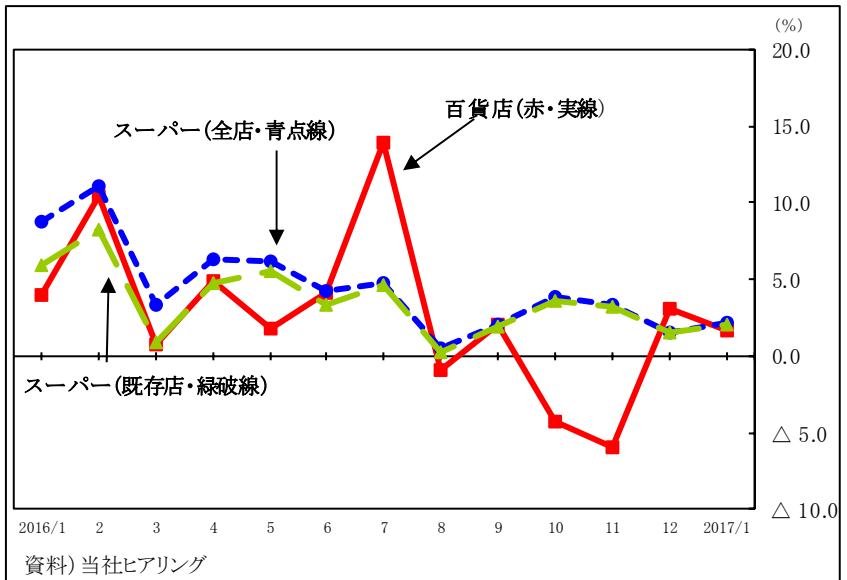


■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位: %

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2016/1	8.8	5.9	4.0
2	11.1	8.3	10.5
3	3.3	0.9	0.7
4	6.3	4.8	4.9
5	6.2	5.5	1.8
6	4.2	3.3	4.1
7	4.8	4.6	13.9
8	0.5	0.2	△ 0.9
9	2.1	1.9	2.0
10	3.8	3.6	△ 4.3
11	3.4	3.2	△ 5.9
12	1.6	1.5	3.1
2017/1	2.2	2.0	1.7

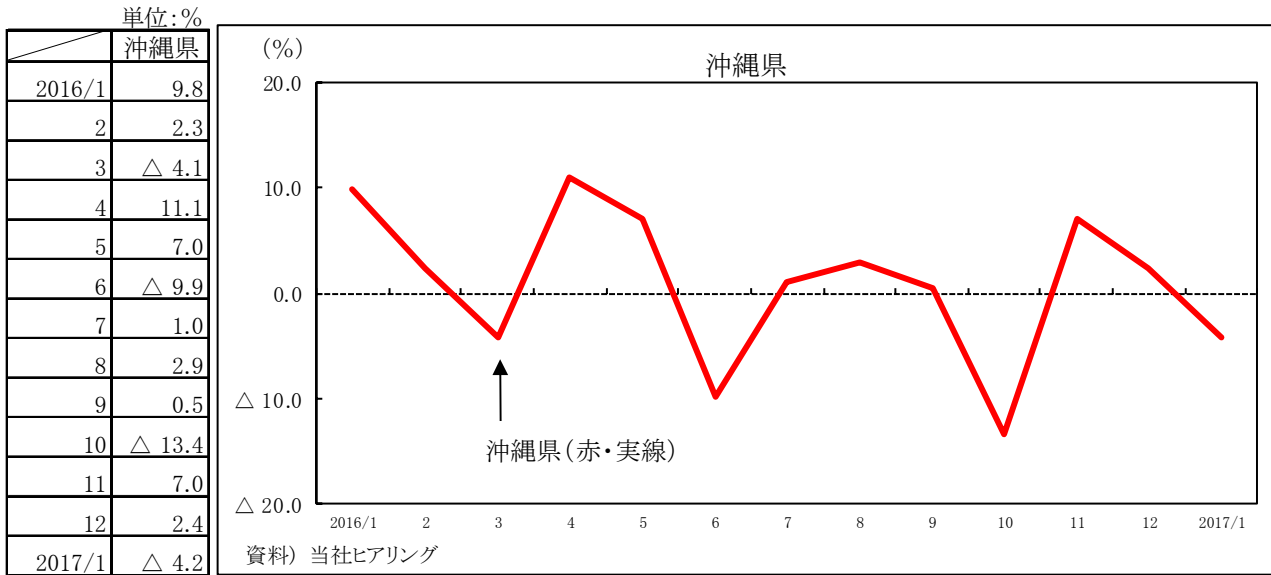


注) 前年同月比

1月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「全店ベース(前年同月比 2.2%増)」が22ヵ月連続で前年同月を上回りました。前年より土曜日が1日少なかったものの、継続的な新規出店効果などによりウェイトの高い「食料品(同 3.0%増)」などの売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。「既存店ベース(同 2.0%増)」は、店舗改装による集客効果などから、22ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同 2.7%増)」は、生鮮全般(精肉・水産・青果)や惣菜の売れ行きが堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。また、家電を含む「家庭用品(同 1.9%増)」は、白物家電(洗濯機、冷蔵庫、エアコン)やテレビなどが前年に伸びた反動などから伸び悩んだものの、インバウンド(訪日観光客)による雑貨(化粧品、小物類)需要が堅調だったことなどから前年同月を上回りました。一方で、「衣料品(同 4.0%減)」は、暖冬の影響などから秋冬商材の売れ行きが低調となり、前年同月を下回りました。

**百貨店売上高**は、前年より土曜日が1日少なかったものの、新規催事開催による集客効果などから「食料品」や「雑貨」などの売れ行きが堅調で、2ヵ月連続で前年同月を上回りました(同 1.7%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 1.0%増)」は、主力商品である「婦人服(同 1.7%増)」や「紳士服(同 7.9%増)」などは暖冬の影響がみられたものの、割引企画などの販促強化から秋冬商材の売れ行きが堅調に推移し、前年同月を上回りました。「食料品(同 2.9%増)」は、生鮮(精肉、水産、青果)や惣菜などの売れ行きが堅調だったほか、新規物産展の開催効果なども加わり、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同 9.2%増)」は、主力商品の化粧品などで継続的なインバウンド需要がみられたことなどから、前年同月を上回りました。一方で、「身の回り品(同 10.9%減)」は、婦人靴・バッグを扱うテナント減少の影響が続くなど、売れ行きが低調で前年同月を下回りました。

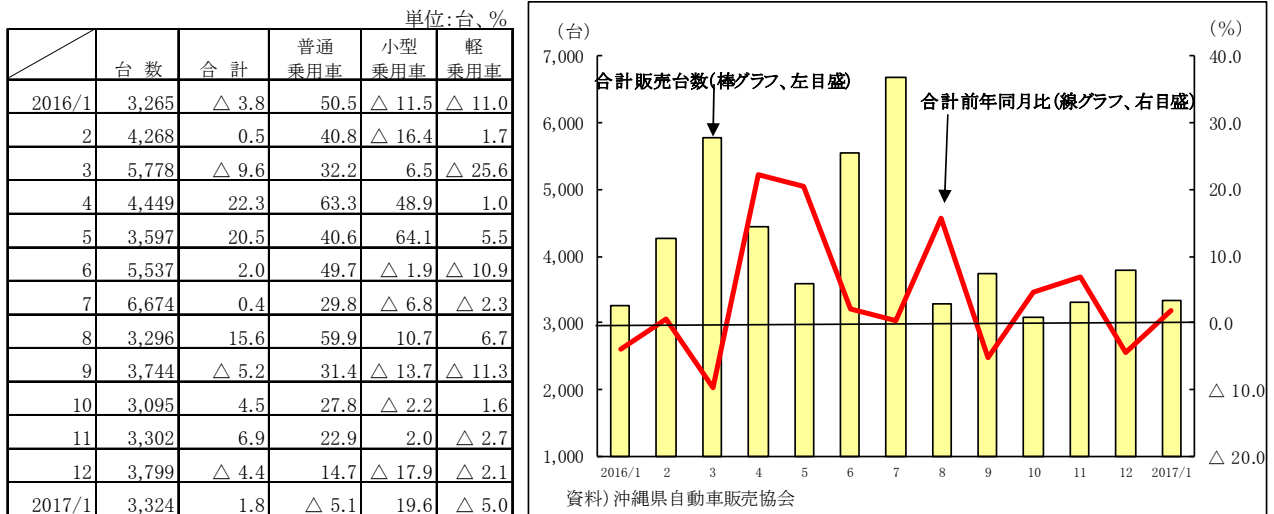
②家電卸出荷額…太陽光パネルやテレビの売上減少などにより、前年同月を下回る。



注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、太陽光パネルやテレビの売上減少などにより、3 ヶ月ぶりに前年同月を下回りました(同 4.2%減、太陽光パネルを除くと 3.4%減)。品目別では、「太陽光パネル(同 11.2%減)」は条件付接続の影響などから需要の減少が続いているほか、「テレビ(同 9.1%減)」や「洗濯機(同 10.4%減)」は新型商品効果が一部みられたものの、前年に伸びた反動などから、それぞれ前年同月を下回りました。一方で、「エアコン(同 51.2%増)」は暖冬の影響や旧型処分などで売れ行きが好調だったほか、「冷蔵庫(同 3.6%増)」は、新型商品効果や販促強化により売れ行きが堅調で、それぞれ前年同月を上回りました。

③新車販売台数…小型乗用車の需要増加などから、前年同月を上回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

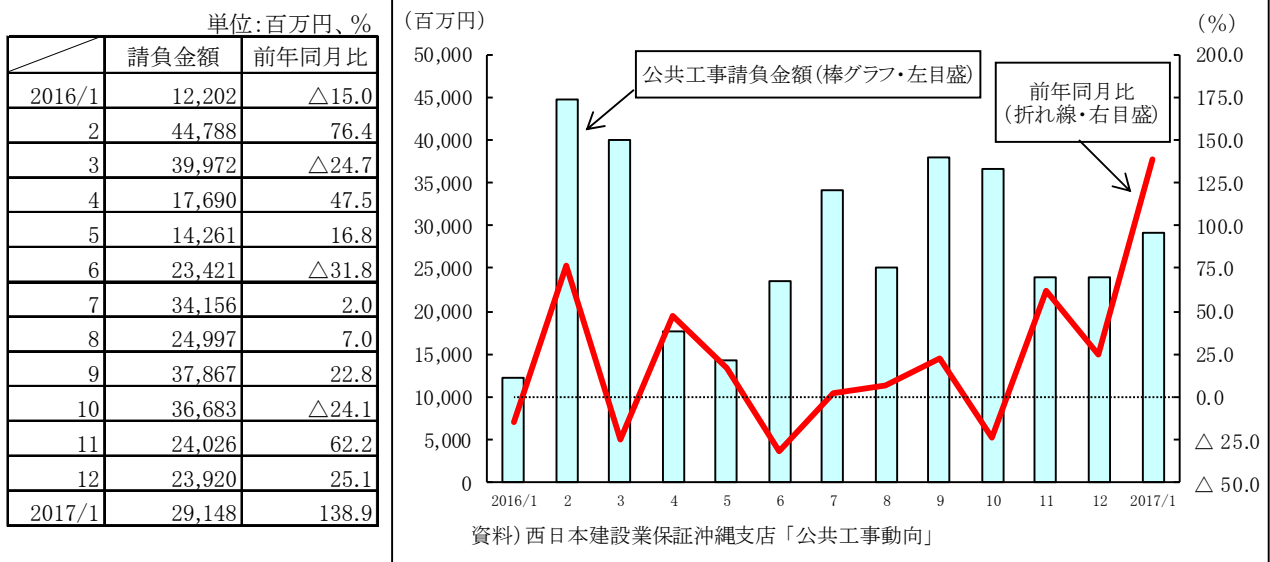
**新車販売台数**は、全体で 3,324 台(同 1.8%増)となり、2 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「小型乗用車(同 19.6%増)」は、前年に落ち込んだ反動など 2 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました。一方で、「軽乗用車(同 5.0%減)」は軽自動車税増税の影響が続いていることなどから 3 ヶ月連続、「普通乗用車(同 5.1%減)」は前年に大きく伸びた反動などから 16 ヶ月ぶりに、それぞれ前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



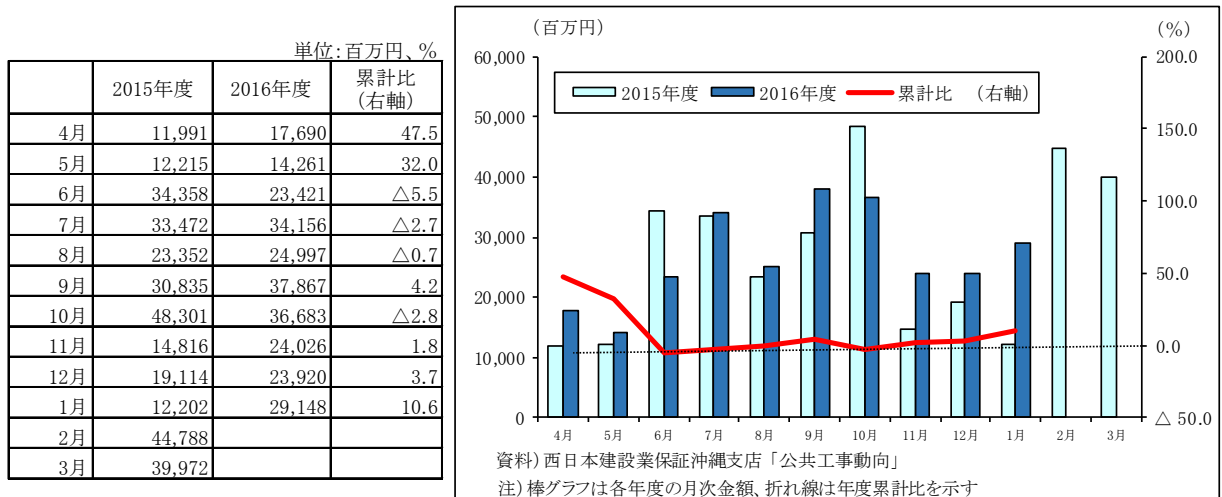
■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。



1月の**公共工事請負金額**は、前年同月比138.9%増の291億4,800万円となりました(3ヵ月連続増)。発注者別でみると、「独立行政法人等(同100.0%減)」や「沖縄県(同21.7%減)」、「市町村(同3.0%減)」は前年同月を下回ったものの、「国(同82.5%増)」は那覇空港滑走路増設埋立工事などの大型工事、「その他の公共的団体(約26.6倍)」は那覇空港連結ターミナル施設建設に係る大型工事があり前年同月を上回りました。

【参考】公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

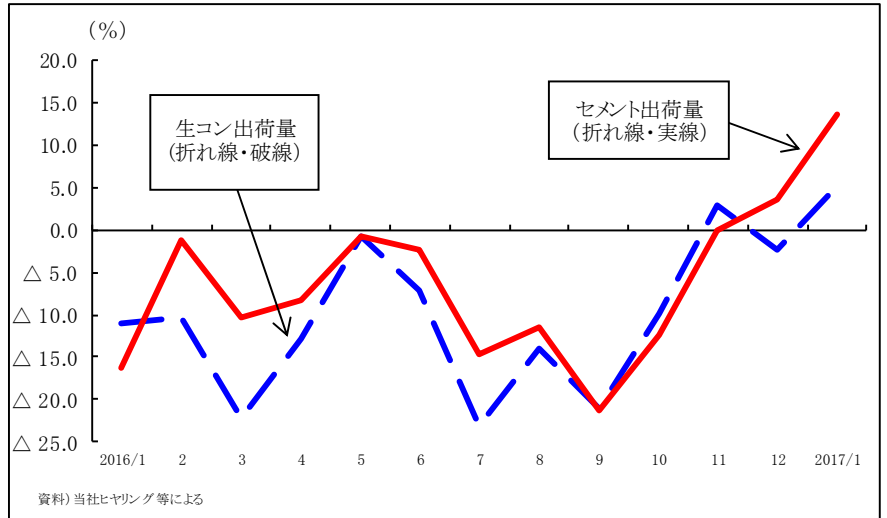


今年度4月～翌年1月までの累計を前年度同期と比較すると、10.6%増となっています。(上記折れ線グラフ)

②建設資材…生コン、セメントはともに前年を上回る。

単位:前年同月比(%)

	生コン	セメント
2016/1	△ 11.0	△ 16.3
2	△ 10.2	△ 1.2
3	△ 22.2	△ 10.2
4	△ 12.7	△ 8.4
5	△ 0.7	△ 0.7
6	△ 7.1	△ 2.4
7	△ 23.1	△ 14.8
8	△ 14.0	△ 11.4
9	△ 21.2	△ 21.4
10	△ 9.9	△ 12.4
11	3.0	△ 0.1
12	△ 2.4	3.5
2017/1	5.1	13.5



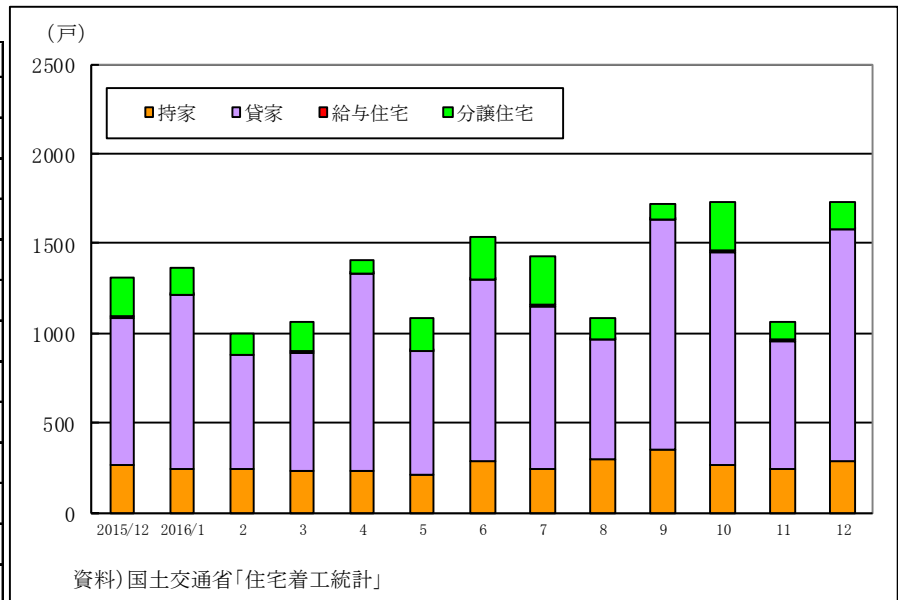
(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

**建設資材関連**では、生コンの出荷量は5.1%増と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より12.2%下回ったものの、民間工事向け出荷が19.0%上回りました。セメント出荷量は13.5%増と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資(12月)…着工戸数は前年同月を上回る。

単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2015/12	1,306	△4.5
2016/1	1,366	15.7
2	1,000	△25.3
3	1,062	8.4
4	1,409	20.2
5	1,085	△13.5
6	1,535	△16.0
7	1,432	5.1
8	1,082	△38.7
9	1,714	12.2
10	1,731	54.8
11	1,057	△19.1
12	1,728	32.3



**新設住宅着工戸数(12月)**は、全体で前年同月比32.3%増の1,728戸と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同58.6%増)」や「持家(同4.8%増)」は前年同月を上回ったものの、「給与住宅(同42.9%減)」や「分譲住宅(同31.6%減)」は下回りました。

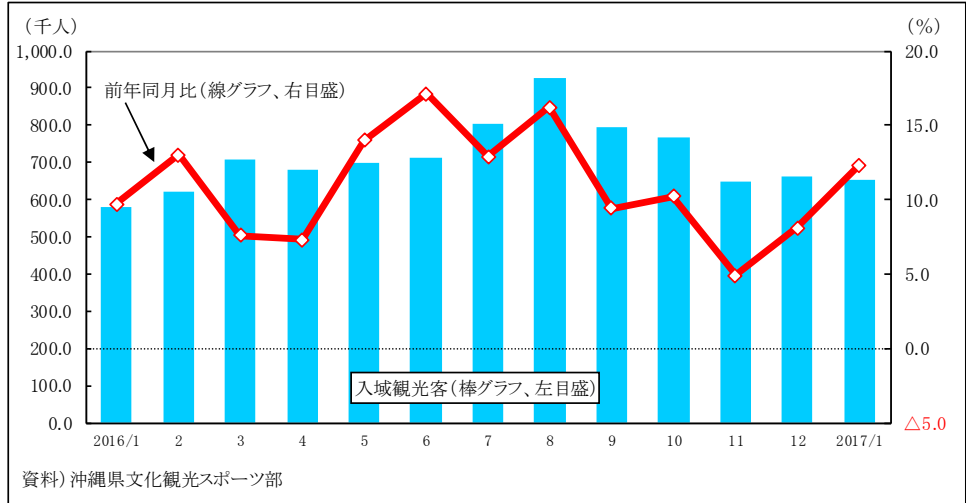


■観光関連: (良い)

①入域観光客数(国内客・外国客の合計)…52ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2016/1	581.6	9.7
2	622.5	13.0
3	709.2	7.6
4	681.5	7.3
5	697.1	14.0
6	714.4	17.1
7	805.8	12.9
8	926.9	16.2
9	793.0	9.4
10	767.9	10.2
11	650.2	4.9
12	663.0	8.1
2017/1	653.0	12.3



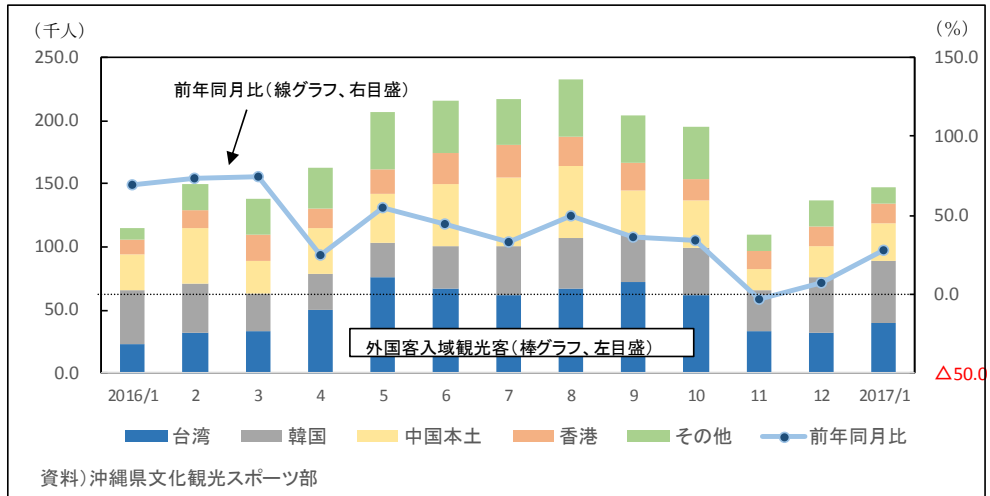
※外国客は乗務員等を含む

※上記 2016 年 5 月の数値については、沖縄県よりホームページにて数値訂正の公表(2016 年 8 月 19 日付)があったことから遡って修正した。

外国客 入域観光客数…2ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2016/1	114.9	69.2
2	149.9	72.9
3	137.9	74.6
4	162.2	24.2
5	206.5	54.5
6	215.9	44.7
7	217.3	33.3
8	232.0	50.0
9	203.4	36.0
10	194.7	34.2
11	110.2	△2.8
12	137.2	6.9
2017/1	147.2	28.1



※外国客は乗務員等を含む

1月の入域観光客数は、71,400人多い653,000人(前年同月比12.3%増)となり、52ヵ月連続で前年同月を上回りました(1月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同8.4%増)」は505,800人と、各航空会社による航空路線の拡充が夏季以降継続している事や、個人旅行を中心に旅行商品の販売状況が好調に推移した事などから、10ヵ月連続で前年同月を上回りました。

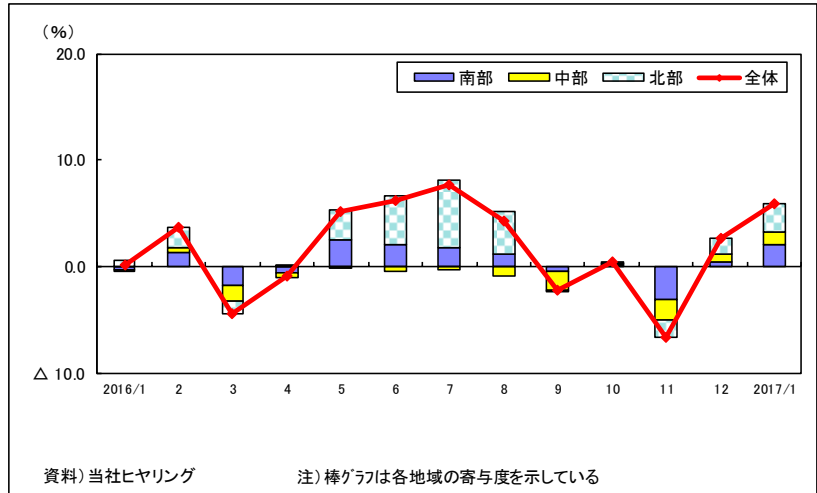
他方、「外国客(同28.1%増)」は、147,200人と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増加等により空路・海路ともに好調に推移したほか、昨年は2月にあった春節(旧正月)時期の旅行需要が、今年は1月に前倒しとなったことなどから前年同月を上回りました。

「台湾(同73.9%増)」「韓国(同14.6%増)」「中国本土(同3.1%増)」「香港(同30.2%増)」

※乗務員等を除く2017年1月実績=全体644,700人(同11.7%増)、外国客138,900人(同25.6%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…2ヵ月連続で前年同月を上回る。

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2016/1	r 0.1	△0.7	△ 1.4	r 1.2
2	3.7	3.3	3.5	4.0
3	△ 4.4	△4.6	△ 11.4	△2.2
4	△ 0.9	△1.5	△ 3.0	0.3
5	5.2	6.5	△ 0.8	5.7
6	6.2	5.2	△ 3.6	9.2
7	7.7	5.1	△ 3.1	11.8
8	4.3	3.5	△ 6.9	7.3
9	r △ 2.3	△1.3	r △ 15.0	△0.1
10	r 0.4	0.3	r 0.9	0.4
11	r △ 6.7	△7.4	r △ 14.2	△3.7
12	2.7	1.1	r 5.0	3.5
2017/1	5.9	5.4	8.9	5.5

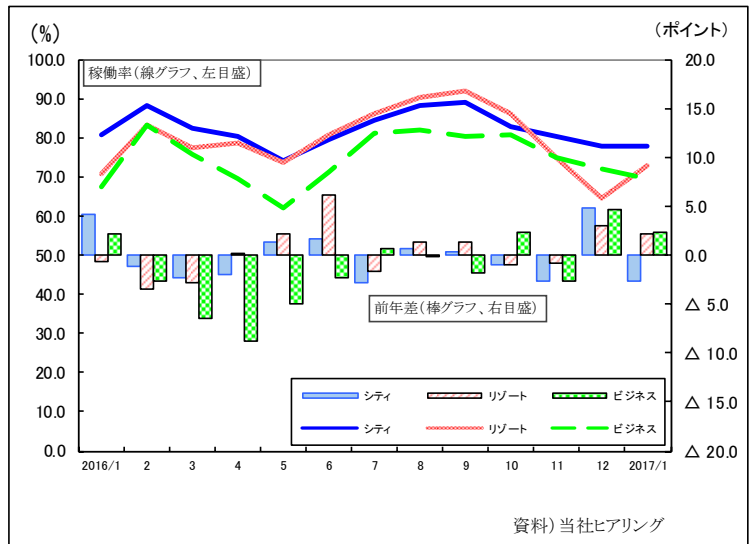


※調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より 5.9%増加(2ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同 5.4%増と2ヵ月連続、中部は同 8.9%増と2ヵ月連続、北部は同 5.5%増と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。

③ホテル稼働率…リゾートホテル、ビジネスホテルは前年同月を上回り、シティホテルは下回る。

	稼働率					
	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2016/1	80.5	70.9	67.3	4.2	△ 0.6	2.2
2	88.3	83.3	83.4	△ 1.2	△ 3.5	△ 2.7
3	82.3	77.3	75.9	△ 2.3	△ 2.8	△ 6.5
4	80.1	78.6	69.3	△ 2.0	0.2	△ 8.8
5	74.2	73.5	62.2	1.3	2.1	△ 4.9
6	79.6	80.7	71.3	1.6	6.2	△ 2.3
7	84.4	86.2	81.3	△ 2.8	△ 1.7	0.7
8	88.1	90.4	82.0	0.6	1.4	△ 0.2
9	89.2	92.1	80.4	0.3	1.4	△ 1.8
10	82.9	86.2	80.9	△ 1.0	△ 1.0	2.3
11	80.2	75.1	75.0	△ 2.7	△ 0.9	△ 2.6
12	77.6	64.4	72.0	4.8	3.0	4.6
2017/1	77.9	73.0	69.6	△ 2.6	2.1	2.3



注)シティ9ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス7ホテル

注)2015年10月より、シティホテル対象施設数に変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

注)2016年4月より、リゾートホテル対象施設数に変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

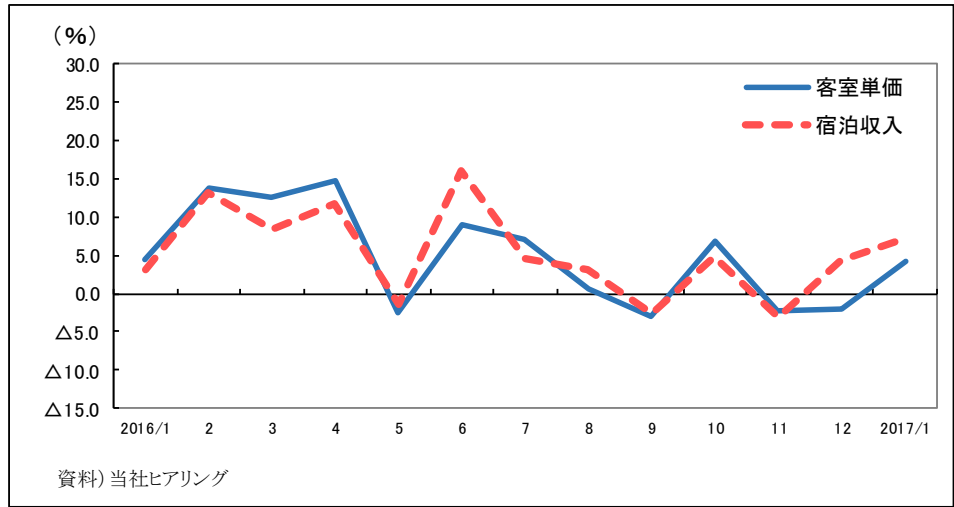
県内ホテル稼働率は、シティホテルが 77.9%と 2.6 ポイント減少(2ヵ月ぶり)、リゾートホテルが 73.0%と 2.1 ポイント上昇(2ヵ月連続)、ビジネスホテルが 69.6%と 2.3 ポイント上昇(2ヵ月連続)しました。



④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2016/1	r 4.4	r 3.2
2	13.7	13.2
3	12.7	8.5
4	14.7	11.8
5	△2.4	△1.5
6	9.1	16.1
7	7.2	4.6
8	0.7	3.1
9	△2.9	△2.5
10	6.8	4.9
11	△2.2	△3.0
12	△1.9	4.3
2017/1	4.3	7.1



※対象施設数: 27施設(シティ9、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は27施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2015年10月より、シティホテル対象施設数に変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※2016年4月より、リゾートホテル対象施設数に変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

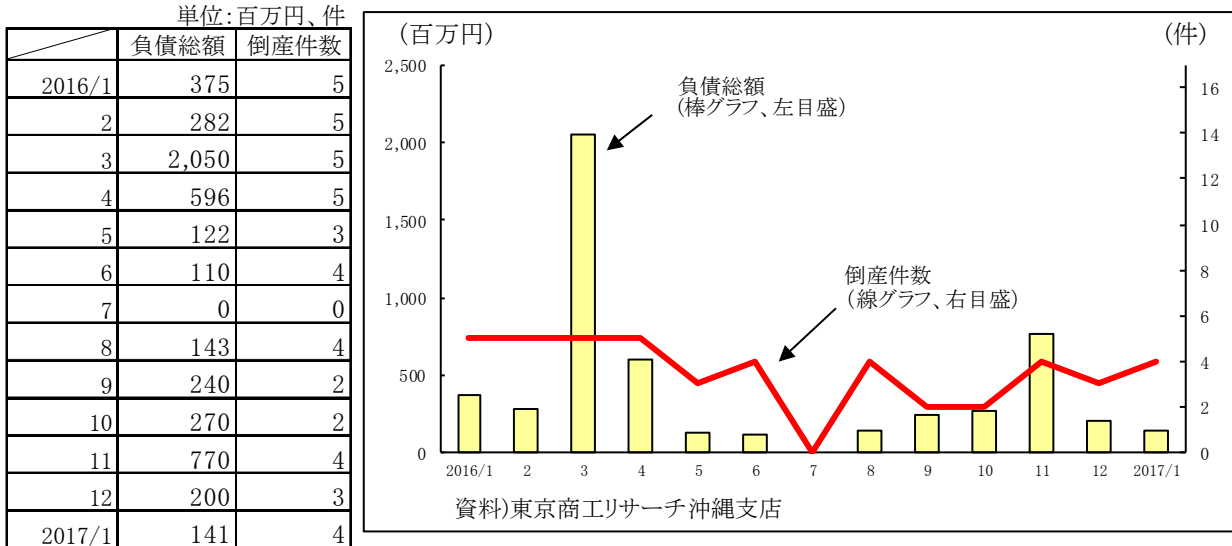
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は前年同月比 4.3%増と前年同月を上回りました。**宿泊収入**も同7.1%増と前年同月を上回りました。



■企業倒産: (やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

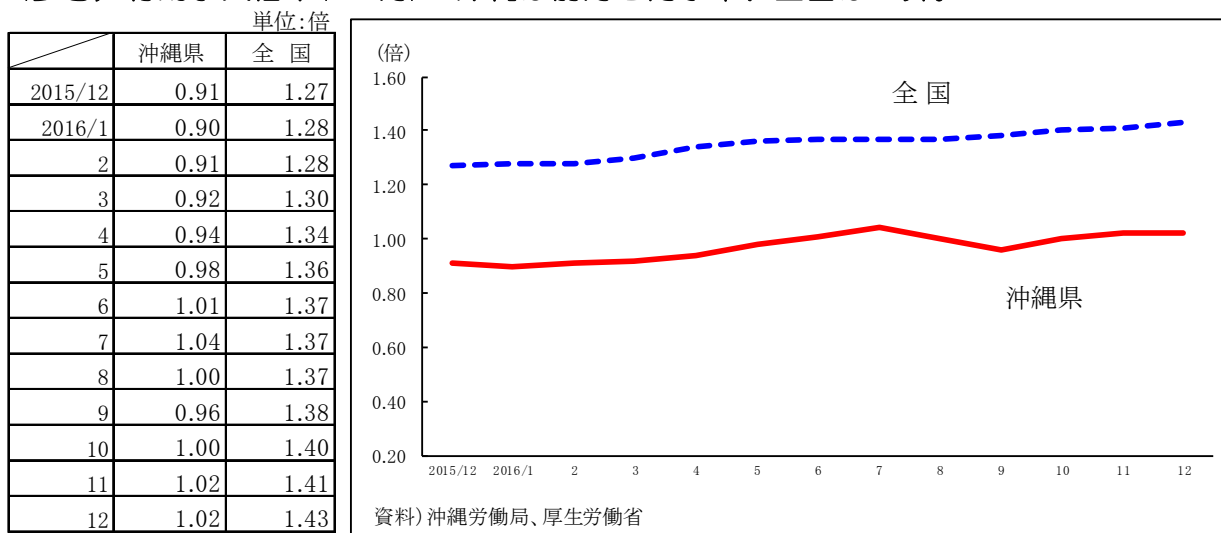


1月の企業倒産件数は、4件(うち大型倒産、大口倒産ともに無し)となり、前年同月より1件減少(同20.0%減)しました。負債総額は1億4,100万円となり、前年同月より62.4%減少しました。



【参考】雇用関連: (良い)

(参考)有効求人倍率(12月)…沖縄は前月と同水準、全国は上昇。



注) 季節調整済

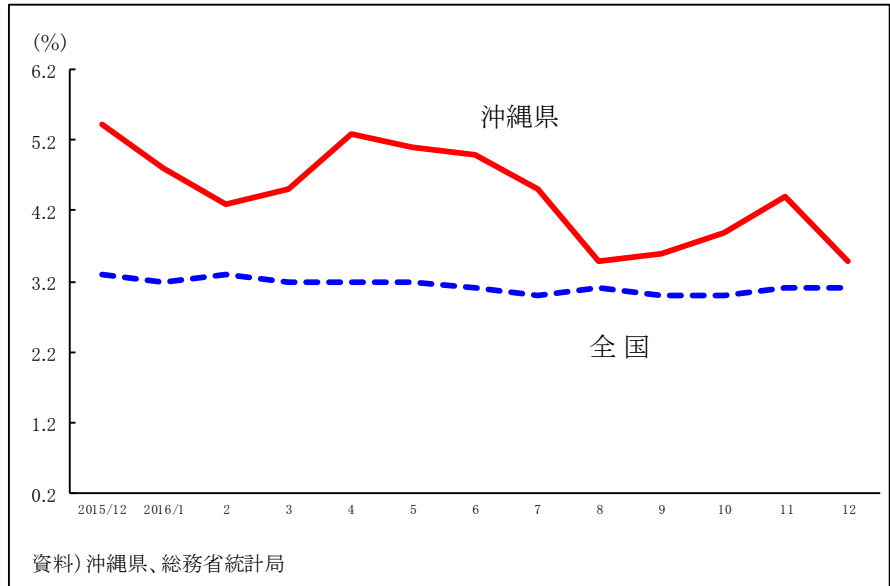
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

12月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比1.1%減の26,841人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.2%減の26,345人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.02倍となり前月と同水準となりました。

(参考) 完全失業率(12月)…沖縄は前月より下落、全国は同水準。

	単位:倍	
	沖縄県	全国
2015/12	5.4	3.3
2016/1	4.8	3.2
2	4.3	3.3
3	4.5	3.2
4	5.3	3.2
5	5.1	3.2
6	5.0	3.1
7	4.5	3.0
8	3.5	3.1
9	3.6	3.0
10	3.9	3.0
11	4.4	3.1
12	3.5	3.1

注) 季節調整済



12月の完全失業率(季節調整値)は、3.5%となり前月より0.9ポイント下落しました。